大正九年十二月十四日 第三種郵便物認可

新京日日新聞

定價 一ケ月 金八十錢
郵税 一ケ月 金十五錢
廣告 一行 金壹圓廿錢
特別 同 金六十錢
發行所 新京日日新聞社 新京永樂町四丁目一番地 電話三二五番・三三〇〇番
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 谷啓二郎

幹部候補生制度は本年から廢止
中等學校以上の卒業者への特點廢止が注目さる

〔東京八日發國通〕陸軍では昭和八年度豫算に於て納金制幹部候補生制度を廢止し兵役義務を均等に改正するに要する經費を計上し今議會で豫算の決定を俟つて直ちに右制度改正に關する勅令を發し四月以降の入營者に適用することとなつたが此の改正は從來の中等學校以上の卒業者の特點に關し重大影響を與へるので各方面から非常に注目されてゐるが改正要旨は左の如くである

今回の幹部候補生有資格者は全部一般徴兵として徴募され入營後に於て中等學校卒業者以上を幹部候補生有資格者として學校在學中に於ける軍事教練の成績、入營後の成績其他を考察して成績の最も優秀なる者を選拔して幹部候補生とし、之に次ぐ者を下士官とし兩者は在營期間を一個年とし此他の者は中等學校卒業以上の資格を有するも成績不良者又は幹部候補生を希望せざる者は一般兵と同樣兵卒として一個年十個月在營することに改正される

土耳古の輸出制限に當業者對策協議

〔大阪八日發國通〕土耳古政府では土耳古製品を買はない國には輸入許可の數量を制限し我國では一月以降は殆んど輸入禁止も同樣の狀態で關係業者に打撃甚大なので昨七日午後二時商工會議所に紡績聯合會、棉花同業會、東棉、日棉、鐘紡、東洋、日本等の當業者がその中止對策に就き協議の結果、土耳古棉花を團體的に購入するが良策だと意見一致したが、尙は細目は數日中に決定の筈である

新規公債未發行額
各方面で注視

〔東京八日發國通〕昭和七年度新規公債未發行額は約四億圓だが、政府は金利安を利用して其內約三億圓は二分八厘見當の大藏證券で三四月の會計年度更新期前後に於て公債に引直す心組で來たが、年明け後の金融界は意想外に緩漫となつて公債賣却を希望する者多く、日銀は其手持證券を解放して來てゐるにも拘らず一金利低下は今後益々發展す可き見込みがあるので政府は此危機を利用して七年度の未發行公債を借替へる事が有利だとの意向に傾いて來た、而して新規公債が發行されるとせばそのタイプは前回の四分五厘を更に四分に引下げる餘地が充分にありと觀られ、政府は一般市中金利の推移、日銀の利下げ、市中銀行の利下げ等を見極め四分利タイプを斷行するのではないかと推測さるべき有力な理由があり、高橋藏相の如きも低金利政策と公債低利借替を持論として居る程で內々事務當局に調査研究を命じて居る、若し之が實現するとせば一般市中金利證券の利廻り採算等に基準を與へるものであつて各方面に異常な注意を持たれてゐる

春相場はどう動く
大阪堂島米穀取引所
一般取引員 文箭郡次郎

金再禁禮讃の二月高を峠として險爵なる經過を辿けてゐた米界も十月中旬に至つて漸く陽氣の機運に向ひインフレーション政策の強行、高物價の世潮に迎合して最近は本格的の地歩を占めて來たが他の商品に比べれば俯戻り足は遲きに失する憾みがある其主因は一、米穀統制案恐怖の錯覺が米穀市場を一時假死の狀態に陥れてゐたこと二、米は單なる國內消費のみの品として扱はれるに止まること三、需給上の不安なく商人の思惑もなく殊に購買力を減退してゐたこと等に想到すれば又已むを得ざるところであつた

近時農村救濟施設が漸かに奏功して農家が米の賣惜を強張つてゐる上に米穀法の運用も擴大強化し爲に出穀期の米價安は豫想を裏切られ環境良と呼應して春に一燃えあるとの待望を甚だしく深めてゐる

勿論政府の現在の政策を押通す限りに於ては物價の騰貴は必然的の現象であつて隨つて農家がどこまで賣惜しみ通すか商人はインフレ景氣を背景に高値を厭はず米を抱く元氣ありや興味はここに集る

私の卑見を率直に申せば春高の希望が左様に簡單に達せられるとは信じ得ないのである農家が農産物の値上り關高等に少からず惠まれて來たとは申せ負正關係等にて或程度のものは手放さねばならぬのみか出來秋に賣惜んでゐただけに春暖季を控へての持米を好まぬことは昔も今も變りはない

一年草としての米にはこの季節的試練が伴う事も見逃し難いものがある更に大局的に見ても十一月の世界物價指數は日本のみが獨歩高を示し歐米諸國は十月迄天井を打つてゐる爲近歸朝者の談にも米國等の不景氣は豫想外に甚だしく歐洲も何時好景氣來が見當がつかないと言ふてゐる戰債問題軍縮會議と重大な懸案が一掃さるる迄は世界的の不況は免れない我が國のみが悠然として變態的好景氣を謳ひ物價高を把持して行けるか頗る疑問である

斯く觀じ來れば米自体の本質からは急騰は六敷く通貨膨脹低金利等に換物運動が反覆激成され其刺戟に依つて常に割安ながら追從して行くに止まるのではないか大勢は高いものとしても人氣の與が一度は出でも、眞の米價は本年の作柄によつて支配されるものと思はれる但し一般が好轉を期待してゐるだけに人氣の偏重も甚敷く遅れて本年の米界は波瀾曲折で定めて賑はふことであらう

政界漸く活氣づく

〔東京八日發國通〕新春松の內の政界は新年休暇の爲め旅行する者多く休止狀態にあつたが休會明けの議會も切迫し松もとれたので旅行中の政客も歸京し政友會は九日初幹部會を開いて對議會策を練る事となつて居り政府も九日午前十時より閣議を開いて一般政務に就て審議するほか對議會策に就ても協議する事となるべく、民政黨及國民同盟も愈々休會明けの議會に臨むに就ての具体的對策を練りつつあり、政界も漸次活氣を呈するに至つた

岡田海相辭任
後任は大角大將

〔東京八日發國通〕齋藤首相は八日午後四時岡田海相を同五時伏見軍令部長宮を同五時廿分東鄕元帥を訪問懇談の結果岡田海相は遂に辭職に決定した

〔東京八日發國通至急報〕岡田海相の海相辭任問題は本八日俄然新展開を見せ、政界は重々しい暗雲に閉され、午後四時齋藤首相、同五時岡田海相、同五時廿分伏見軍令部長宮等相次いで東鄕元帥を私邸に訪問、重要協議行はれた結果遂に岡田海相は辭任と決し、尙後任海相は大角大將と內定、明九日中に親任式が行はれる筈である

本日午前中に親任式

〔東京八日發國通〕岡田海相辭任に伴ふ後任は大角岑生大將に內定、九日繰上閣議を開き閣僚の諒解を求め午前中親任式を擧行さる

ハイラルの王道慶祝大會
會衆無慮一万に達す

〔ハイラル八日國通風間特派員發〕皇軍の蘇炳文討伐は鮮かな好廻轉を描いてハイラル滿洲里を始めエロンバイル一帶は靜穩に歸し治安著々恢復されつつあるが、舊東北軍閥時代の惡夢から解放され、麗らかに射す陽光にも似た王道滿洲新國家の善政に蘇りつつ、住民は等しく平和な日を迎へたが、コロンバイル新政治に對し感謝の意をこめてハイラルでは大同第二年一月八日陸軍始めの佳日を期し蒙古民族主權の下に盛大な滿洲國慶祝大會は催された、この日天氣晴朗極寒零下四十度のコロンバイル城下に集る日滿蒙住民無慮一萬余午前九時よりハイラル新市街〇〇司令部前大廣場において陸軍始めの式を行ひ、日本軍閲兵分列行進に續き、蒙古兵及び公安隊の閲兵分列式あり、終つて滿洲國慶祝大會に移つた滿洲國側各機關代表、蒙古王侯百八十名、日本軍武官等によつて慶祝演説が行はれ、次いで旗行列を行ひ、和氣靄々として一萬余の民衆は新國家を謳歌し滿洲國家建設史上に輝かしき一頁を添へたが此日ハイラル全市を擧げて喜悦と歡喜の絶頂にゆれ上つた

町尻侍從武官 八日下關着

〔下關八日發國通〕皇軍慰問の爲め渡滿した、町尻侍從武官は八日朝連絡船で下關に上陸した町尻武官は語る
聖旨を拜し皇軍の士氣はいやが上にも高調してゐた、各地に於ける色々の情況は天覽に供する筈である

商工省の製鐵業統制案
二月初議會提出

〔東京八日發國通〕中島商相の努力で商工省の製鐵業統制案は大体二月上旬議會に提案の運びとならんと觀られて居るが、案の內容は商工省案として發表のものと略同樣で八幡製鐵所を中心として現物出資による民間大合同會社案として理想としては、製鐵各社を統轄せんとして居る、結局製鋼會社は參加困難で銑鐵業を主眼とし評價委員會を設置して合同率を決定するが、運轉資金の一部として八幡製鐵所が受けて居る預金部低資七千萬圓を繼承する、尙合同法は強制的に參加させず、自然淘汰によらんとして居る

怪人凱歌
（講談上演・映畫化） 須藤鐘一（作） 瀧 秋方（畫）

（百十二）

雲の日（六）

千鶴子はそつと溜息をふいては語りつゞける。

「……帽子や下駄がこゝにあるからには、屹度此の邊で、どうかされたにちがひない。そしたら、誰れか見かけた人があるだらうと思ひましたので、片つぱしから尋ねてあるきました。そのうちにも、こんな風に帽子や下駄がほうり出してある位では、どうせ碌なことはあるまい。怪我だけならまだしも、ことによると殺されてしまつたのかも知れぬと云ふやうな氣が致しまして、もう泣くまいとしても涙がひとりでに、あとから〳〵と出て來て仕樣がなかつたのでございますのよ」

千鶴子は初對面の眞佐子に對し、十年の知己のやうな親しさを感じ、何も彼も有りのまゝを打ち明けないではゐられなかつた。

「ほんとに御心配でしたでせうねえ、お察しいたしますわ」と、眞佐子も身にしみて聞いた。

「もし、あなたが助けて下さらなかつたら、兄さんはどうなつてるか分りませんでしたわ」

「そんなこともないでせうけれどねえ。……わたしが、あの時、屋敷の人聲を聞きつけたのも屹度何かの御縁なのでせう」

「兄さんの命の恩人ですわ」

「まアそんなことが……」

二人が話してゐるところへ、看護婦が入つて來た。

「あちらに控室がございます。お湯が沸いてゐますからお茶でも召しあがつてはどうですか」

と、眞佐子に看護婦がいつた。

「さうですか、それぢや山路さんあちらへ行つて暫らくお休みなすつては？」

眞佐子は少女を誘つて廊を立つた。千鶴子はおとなしくうなづいて、あとからついて來る。

看護婦は甲斐々々しく負傷者の世話にとりかゝつた。

控室には火鉢に鐵瓶がかけてあつて、盛んに湯氣をあげてゐた。その傍らには茶器や水差しなども備へてあつた。

眞佐子は茶をいれて千鶴子にもすゝめ、自分も一口飮んでから、

「一たい、お兄さんはどうしてあんな不良少年なんかにいぢめられなすつたのでせうね？」

今まで尋ねたくても、本人がつい傍らにゐるので、眞佐子は差控へてゐた質問を、やつと口にした。

「……あの、何でございます、それが……」

と、千鶴子は最初のうち、何だか云ひにくさうに口ごもつてゐたが、やがて思ひ切つたやうに話し出した。

「お恥しいことでございますが、兄さんは平常からよくないお友達とばかり交つてゐますので、こんなことが起らなければいゝがと、實は前から案じてゐたのでございます」

「ぢや、ゆうべの、あの亂暴な人たちは、お兄さんのお友だちだつたのでせうか？」

「きつと、さうだらうと思ひますのよ。兄さんが酷いものですから、これまでも度々お金を出せとか、時計や着物を持つて來いとか、いろんな無理を云はれてゐましたが、もう何にも持ち出すやうなものがなくなつて、あの人たちの云ふことが十分できないために、きつとあんな目に遭はされたのではないかと思ひますの」

「どうしてお兄さんは、そんな仲間におはいりになつてるでせうね。早く關係をお斷ちになればいゝでせうに……」

「兄さんもよくないのですよ。いくら妾たちがお諫めしましても、ちつとも聞いてくれないんですもの……」

と、千鶴子の眼には又しても涙が宿る。

「まア……そんなお方ぢやないやうですのに……」

眞佐子は家庭に何か深い事情が伏在してゐるらしい事を察すると自分が餘りに突つ込んで、いろんな事を尋ねたことを悔いた。

「初めは、さうでもなかつたのですが、つい先頃からグレ出しまして……」

「早く御家へお屆けになつておくがいゝぢやないですか」

「でも、そんな事をすると、生かしちやおかぬと云ふんですつて」

鐵路幹線

[illegible]

第三國の容喙 斷乎排擊する
非のある方から頭を下げよ 錦州〇團司令部言明

〔錦州八日發國通〕山海關事件善後交渉に關し在錦州〇團司令部ではその態度を左の如く言明した

非が支那側にある以上向ふが頭を下げて自發的に交渉を申込んで來ぬ限り我軍自ら交渉を申込む樣な事は絕對にない、又支那側が誠意を披瀝して交渉を申込むに非ずして又その間第三國が容喙する事は斷乎排擊する方針である

山海關の側背 脅威愈よ增す
石河左岸の學良陣地 着々工事進む

〔錦州八日發國通〕學良の密命を受けた鄭桂林、朱霽青匪は目下奉山線綏中興城前所一帶地區より我山海關部隊の後方を衝かんとしつゝあり、一方熱河に入つた東北軍第十九旅は凌源附近より國境に迫らんとし兩方面の空氣は俄然緊張の度を加へて來り、鄭桂林朱霽青匪を一掃して不安を除去するは皇軍の刻下の急務なりと觀測される

〔山海關八日發國通〕熱河の線に後退した支那軍は新に第廿旅騎兵第三旅等を增派し石河左岸地區に陣地を構築しつゝあり山海關北門上より望遠鏡で望めば支那軍の第一線陣地は山海關城頭より約三千米を距て多數の苦力が塹壕工事に働きその後方約五千米の地點に第二線野砲陣地が目下盛んに構築中である、一帶には嵐の前を思はせる樣な無氣味な空氣が漂つて居る

前線昨日迄變化なし

〔天津八日發國通〕山海關秦皇島方面の前線は引續き双方睨み合ひのまゝ今夕までのところ何等變化なし

前線の各國武官
我軍の眞意を諒解 山海關は和氣靄々

〔山海關九日發國通〕鈴木〇團長は山海關駐在外國武官を守備隊に招待し事件の眞相經過を說明し將來の意圖に關して忌憚無き意見を開陳したので外國武官も之を充分諒解し和氣靄々裡に午餐を共にし散會したが同七日午後北平から米國公使館附武官一行が山海關に到着したので鈴木〇團長は同樣說明を爲し、且つ我方は支那側が挑戰せぬ限り積極的行動に出る意思毫もないことを傳へたがこのため一行の我方に對する感情著しく好轉した

事件の後援に 平津地方でお祭騷ぎ

〔天津八日發國通〕事件發生後當地各團體は後援會を組織して活躍して居るが、北平滿洲大學では前線救護班を派遣に決し、南京中央陸軍大學生なりとて何柱國の彈劾を決議したりして不統一なる後援振りを發揮してゐる

我爆擊說は 外務省に公電なし

〔東京八日發國通〕熱河平津方面で八日我が關東軍飛行隊が學良に對し爆擊を開始したとの噂が傳つて居るが、外務省には未だ何等の公報なく、且つ帝國政府としては南京政府や學良側の執拗なる挑戰あるにも拘らず出先軍及び官憲に對し嚴重に戒めあくまで山海關事件の擴大防止に任じて居り、右に眞否が疑はれて居る

學良外人記者を招き 武力抵抗を言明

〔北平八日發國通〕張學良は本日午前十一時在北平外人記者六十名を順承王府に招き山海關事件以來最初のインタヴューを爲した、會見約一時間にわたり世界平和論より說き起し山海關事件についても突込んだ質問に答へ、今後の武力抵抗を明言した「自衞權の行使は日本人に敎へられる所なり」等と皮肉を述べ外人記者を喜ばした、外人記者より何とか問題解決の爲め盡力し得る事あらばとの問に對し「事態の實相を先づ日本人に知らせて呉れよ」と答へた

學良は健康には見えるが顏容焦悴甚だしく疲勞の影があつた

秦皇島の排日激化

〔天津八日發國通〕秦皇島支那街における支那兵の掠奪暴行は尙やまず七日支那街で邦人使用支那人一名を銃劍で突き重傷を負はせ排日感情激化に努め避難民は停車場に集り天津、北平に逃がれてゐる

熱河軍慘虐の限り

〔錦州八日發國通〕素質劣惡な熱河軍は給料不渡りの爲め民家に闖入、無辜の住民を苦しめ家畜を奪つて口腹を滿し婦女子に暴行するなど慘虐を極めてゐる、爲めに住民は住家を追はれ食ふに食なく零下十七度の寒氣の中に禿山の間を彷徨し凍死するもの續出全く悲慘を極めてゐる

邦人使用支那人 迫害さる

〔天津八日發國通〕五日來斷續的に行はれてゐる秦皇島における支那兵の掠奪暴行は昨今に至るもやまず支那人は恐怖の餘り天津方面に避難せんと停車場につめかけてゐるが列車の運轉が少ない爲め乘込めず驛の內外は之等避難民で大混亂してゐる、尙は同地居留邦人商店の支那人一名は支那兵に刺し殺され一名は瀕死の重傷を負つた

國府學良に 軍費五十萬元 送附

〔錦州八日發國通〕南京政府は張學良後援の爲め軍費五十萬元を送附し、兵器彈藥其他某國より購入の飛行機も要請に應じて送附された、某國との間に成立の借欵額の內大部分は軍費補充に充てられることゝなり張學良は今や露骨に抗日決戰の態度を示して來た

梅津少將 天津方面に急行

〔東京八日發國通〕我政府は山海關事件不擴大方針の下に自重し居るが、支那側の抗日態度愈ますして將來の豫測がつかないので陸軍では首腦部會議を開いた結果參謀本部總務部長梅津少將を天津方面に急派する事となり梅津少將は參謀本部員牟田、富永兩中佐を帶同午後九時廿五分東京驛發西下したが、神戶より大連行汽船にて大連を經て天津方面に行く事となつた

落合隊長に 和平解決を歎願す

〔天津八日發國通〕山海關警備司令何柱國は張學良の內命により昨日我山海關落合部守備隊長に和平解決を歎願したが右對策に付ては目下中央部及び關東軍と打合中である

日本軍進擊不能
支那紙宣傳しては 旺んに喜ぶ

〔天津九日發國通〕山海關占據の我軍は時局不擴大の方針で追擊の鉾を修め、その後の戰備は一段落であるがこれにつき漢字紙は左の樣な記事を掲げて嬉しがつてゐる即ち日本軍が進擊せざるは欲せざるにあらずしてあたはざるなり我方が死守の決心を有し、軍事當局の處置敏速にしてその餘地を與へざりしがためなり

中村司令官 と會見
アーベント記者

〔天津八日發國通〕著名なるニユーヨークタイムス記者アーベント氏は本日午後三時半駐屯軍司令部で中村司令官と會見したが會見後語る

山海關事件突發の原因、前線の現狀及び將來に對する日本軍の態度方針等につき十分意見の交換をなしたが中村氏の率直且つ明確なる答に大いにチャームされ事件突發の眞因、日本軍の公正なる態度を知ることが出來たのは大なる收獲だ、明日は于學忠と會見し支那側の言ひ分を聞き更に山海關の大なる收獲をたてゝ本觀察を止める積りだ

英の妥協提議
支那受諾は疑はしい 北平駐在武官の談

〔北平八日發國通〕秦皇島にある英艦フオクストン號艦長ホソード氏はクリー提督の命を含み日支代表者を同艦上に會見せしめ秦皇島附近に於ける險惡なる空氣を排除し且つ出來得べくんば地方的解決につき協定せんと、七日午後提議し日支双方ともこれに應諾し八日中には會見實現すべしとの外人側の消息を齎らして當地藤原海軍武官を訪へば語る

未だ公電には接しないが支那側が應諾するのは早過ぎるやうに思ふ、學良は對內問題からしてあくまで强硬態度を持する必要に迫られ又十九ケ國委員會再開を目前に控へて對日本惡宣傳をなすべき好機として居る折柄地方的解決交渉に入ることは學良として出來ぬ事だらう、但し英國が開灤炭坑の關係から事態擴大防止に努力してゐることは事實だが日本としては解決を方針としてゐる以上調停掛講內容が妥當なる以上これを受けて差支へないと思ふ

學良の豪語に 流言盛に傳る
天津は緊張裡に徹夜

〔天津九日發國通〕昨朝張學良が內外記者團に對し事態斯くなれる以上は平和の希望絕へ自衞上已むなく武力を以て相對するの外なしと豪語した事實より見て平津地方に戰亂は結局まぬがれぬべしと流布され、殊に支那人の恐れてゐるのに乘じ山海關の日本軍は愈々總攻擊を開始した于學忠軍は天津に日本軍の增援來らざる前に日本軍を擊破し日本租界を奪取するに決したなどの諸言しきりに傳はり、人心動搖し、支那官憲は治安維持に努めると共に非常な緊張裡に夜を徹した

加納參謀 ポグラを巡視

〔ポグラニチナヤ九日發國通〕第〇團參謀加納大佐は七日午後二時ポグラ到着反軍歸順狀況を聽取し八日各兵營を巡視午後ポグラ發小綏芬河に來着せる關部〇團長と會見し、東寧討伐戰につき打合せをなし兩三日中に穆稜に歸着の筈

百年名士（3）

中島久萬吉氏

東京府華族、經濟界に硏究の深い人材、明治六年生の六十一歲、東京高商出身、現商工大臣として山積の難問に敏腕を振つてゐる

強固なる 滿洲國財政（一）
關東軍司令部 鈴木顧問談

第一 緒言

滿洲國の財政は將來とも日本の世話にならず、赤字も出さずに行かれるかと云ふことは建國以來の最重大關心事であつた

滿洲國の財政が貧弱で一人立ちか出來ぬとなれば、日本は何としても之れを援けねばならぬ責任がある、然るに日本の財政を見ると未曾有の大赤字である、しかし滿洲國の財政が行かぬとなれば日本は自分の苦境もさることながら、何とか工夫して援けもしやう

然し何時迄も際限なく援助しなければならぬとなれば我が國民の負擔になるのであるから大に考慮せねばならぬこととなる

そこに滿洲國建國第一年度豫算編成並に將來の財政展望と云ふことの必要があつたのである

然るに幸なる哉！滿洲國財政は建國第一年度に於ても、赤字を出さず其五ケ年計畫に就て見るも年を經るに從ひ漸次歳入は增加し國庫の餘裕を生じ財政上は今後日本の世話にならずとも行かれると云ふことか初年度歳計算審議のときに既に判然したのである

其詳細は次ぎに章を逐ふて說明することとするが、それに先立て此國の豫算の編成の仕組を述べる必要がある

第一 豫算主管官廳

豫算編成上の中心的行政廳即ち歳計豫算主管廳は日本を始め文明國では大概大藏大臣の司る所である、しかし之れには近來種々な缺點か指摘されて居る。其主なるものは豫算集成行政を各省大臣の一人たる大藏大臣にやらせて置いては各相の豫算分捕競爭を抑へて行くことか出來かねる、復て豫算は自然膨脹を來すと云ふのである

滿洲國では此弊に陷らぬ樣にと豫算編成は國務總理直屬の主計處をして行はして居る、

主計處は國務總理の指揮の下に各部行政長官より提出せる要求書に就き諸般行政上の輕重緩急を計量して適切な判斷を下し、國務總理の裁定を仰ぐこととなつて居るから抑壓して行き得る組織である

主計處は歳入出豫算の編成をなすのであるか歳入所管廳は財政部（大藏省）てある、從て主計處か自ら財源を握て居らぬから國家の經費と歳入との關係を調整する上におて双方を一ケ所でやつて居る場合に比へて若干の不便のあることは免れない

滿洲國の行政組織上で一つ注意しなければならぬ點は需用處の存在である

滿洲國は政府の營繕、物品購入について日本の如く各官廳分散主義を採らず、總務廳の需用處に於て經理の統轄集中を爲し經費を有效に、合理的に使て行くこととしてある

此制度にも缺點はある、各官廳への物品の配給の不圓滑、營繕の不敏捷等か擧けられては居るか國費を經濟的に使ふと云ふ特徵は總ての不便を償ふて餘りあるのである

第三 建國第一年度 豫算內容

大同元年度豫算の概要は

（一）歳出之部

所管別	經常の部	臨時の部
執政府	一、一五〇圓	―
總務廳	三七、六八四	五〇、四三二圓
興安總署	一、〇一三	―
民政部	四、一六八	一、一六
外交部	六六六	―
軍政部	三〇、〇〇〇	三、〇〇〇
財政部	三四、四八	六、六二
實業部	四三六	―
交通部	一、四四七	三三
司法部	二、一〇八	二七一
文敎部	一〇四、四八二	八、八二五
總計	一三、三〇八千圓	

總務廳の豫算の膨大なるは同廳に他部に屬せさるものを總括してあることと奉天省、吉林省、黑龍江省の省公署費千二百萬圓地方費補助五百萬圓豫備費千五百萬圓をも包括せしめてあるからである

軍政費は舊軍閥時代には九八五九四千餘圓を計上し全歳出の六割八分を占めて居たのであつたか新政府は三千三百萬圓を計上してあるに過きぬ

次きに財政部豫算中には關稅鹽稅を擔保とする中華民國の外債償還資金中への積立千三百萬圓、內國稅及關稅徵收費合計千五十萬圓等が包含せられて居る

年頭所感
參議府議長 軍政部總長 東省特別區長官 張景惠

乾坤ここに一轉大同二年の新春を迎ふるに當り一言所懷を述へよろこびを共にせんとす

余は昨秋日本に使し眼のあたり大演習陪觀の榮に浴しその規律嚴正にして士氣旺盛なる傳統的偉容に接し滿洲國軍の素質改善、治安維持の上に多大の裨益を得た、顧りみれば滿洲國建國第一年は秩序尙全からず又反滿洲國工作邊地に公然行はれるの狀にあり、ために滿洲國當局は「治安第一主義」をもつて進み專ら匪徒の掃討、收撫に努めて結果、功績大いに顯著なるものあり、既に叛圖を放棄歸順せのもの十萬を下らず、尙續々中央政府の收撫に應じ良民と化して王道の惠澤に浴せんとしつゝある、然しながら治安の根本的維持は兇器の絕滅にあり政府は近く法令を定め軍警の使用銃器を一定し規定以外のものは漸次沒收するの外、國境の警備を嚴にして反滿洲國工作の目的下に密輸入される銃器を嚴重取締り滿洲國內不逞の徒をして一銃をも所持し能はざらしめ以て在留外人生命の危險を根民より防護し三千萬民衆をして誠腹その堵に安んぜしめ眞の安住樂土を出現せんとす幸ひに隣邦日本國軍の大なる犧牲を拂はれ治安の確安に當られつゝあり新春旭光の下、改めて茲に萬腔の謝意を披瀝その勞の萬分の一に酬ひんと欲す

海相親任式
本月中に擧行

〔東京九日發國通〕齋藤總理は昨八日夜大角大將の內諾を得本九日午前八時半總理官邸に大角大將と會見して正式交渉を爲し受諾の上閣議で決定し宮中の御都合を伺ひ本日中に左の通り親任式擧行の豫定である

從三位勳一等功五級 海軍大將 大角岑生
任海軍大臣

海軍大臣 岡田啓介
依願免本官

岡田大將は 軍事參議官に

〔東京九日發國通〕海相辭任後の岡田大將は軍事參議官に補せられる事となり九日左の如く官記傳達ある筈である、尙岡田大將は一月二十日の停年滿期に際し後備役編入仰付られる筈である

海軍大將正三位勳一等功三級 岡田啓介
補軍事參議官

佛國の對東亞政策 今後も變化なし

〔パリ七日發國通〕佛國首相ボンクール氏は七日賜暇休暇中の駐日大使ド・マルテル伯を引見した、同大使は近く東京に向け歸任の途につく豫定であるが確聞するにド・マルテル大使が歸任の上日本外務省に對し山海關事件に關して忌憚なき强硬意見を吐露すべき旨の訓令を受けたと言ふ新聞報道は事實相違で日支紛爭事件に關する佛國の外交對策は依然聯盟の紛爭解決方針に終始するもので從來の政策に何等の變更がないと

クーリツヂ氏の 告別式
遺骨は鄉土に葬らる

〔ノーザンプトン七日發國通〕米國第三十代大統領クーリツヂ氏の告別式は七日午前十時三十分より當地エドワード組合教會で嚴肅に執行された、會葬者數百名、式場は花輪に埋まり儀仗兵の起立裡に祭壇の下に安置された前大統領の遺骸に最後の別れを告げた、生前特に知遇を受けたフーヴアー氏も夫人同伴でわざわざワシントンから來着し式に參列した、式後遺骸は靈柩車に乘せられそぼ降る雨の中を近親知己を乘せた八臺の自動車に護られ數千の群集沿道に堵列涙で見送る中を鄉里ブリマスに送られ七日午後一時近郊の丘陵地にある祖先代々の墓地に埋葬された

鹽の賣行き

治安恢復した大同二年滿洲國の好景氣を裏書きする鹽の賣行きは極めて良好である、吉黑兩省內三十七ケ所の鹽倉は最早匪賊襲擊の懸念全く去りこれに對する役員の配置も全部完了した、吉黑兩省の鹽の賣行きは、昨年十二月は十三萬六千ピクル、一昨年同月の三萬ピクルに比して約四倍の增加で完全に事變前の狀態に復して居る、吉黑權運局では此の調子なら今月中に十萬、二月二十萬、三月四十萬を賣上げると意氣込んでゐる

人事往來

▲內田工兵大佐（鐵道第一聯隊長）八日午後四時三十分吉林へ
▲小川砲兵少佐（新京線區司令部支部長）八日午後三時三十五分來京
▲大石隆基氏（大滿蒙社長）八日午後四時三十分南行
▲太田少將（熊本敎導學校長）八日午後十時五十分來京
▲島本大佐（ハルビン獨兵隊長）同上
▲草場大佐（參謀本部第六課長）同上
▲山田少佐（新京商業學校敎官）同上
▲日下內務局長（關東廳）同上
▲于芷山氏（奉天警備司令官）同上
▲八田副總裁 九日午前八時來京

關稅改正案
廿日頃調查會に附議

〔東京八日發國通〕大藏省では今議會に提出すべき關稅定率法中改正法律案につき審議を重ねてゐたが昨日黑田次官中島主稅局長飯田關稅課長協議の結果大体十三日頃省議に附し二十日頃關稅調查會に附議することに決定した今日迄內定せるものは

一基礎稅率を變更する品目 引上げ品目、南洋材引き上げ品目、醫藥品等であるが重量稅三割五分賦課率の改正に就いて引き上げ說とこれを据え置き從價稅を引上げよとの兩論があり高橋藏相の決裁を仰ぐ筈である

民政黨は絕對政府擁護

〔東京九日發國通〕民政黨においては純與黨的立場にある關係上議會における質問は從來の如き彈劾的のものでない事は勿論で、若し政友會が傳へられる如き倒閣の目的から豫算案を始め各重要法案に對し政府に難題を持ちかけ政局を不安に導く樣な場合は、政府に密接な連絡を取つて議會解散の覺悟を以て機に臨み萬全の對策を講ずる決意をなしてゐる

國民同盟の 對議會策

〔東京九日發國通〕國民同盟は十日總務會及幹部會を開き對議會策を協議する事になつてゐるが、元來國民同盟は政民兩黨とは全く異る立場にある爲愈々議會に臨んでは安達總裁以下一絲亂れざる結束の下に是々非々の態度に出づる事は勿論だが現內閣が寄帶である關係上種々政治的突發事件の惹起する事想像するに難くないので、かゝる場合に處する萬遺漏なき籌戰をも講ずる事になつてゐる

混保見本查定會
十五日頃公主嶺で開催

昭和七年度大豆混合保管檢查標準見本查定會は來る十五日頃公主嶺農業試驗場で開催されることになつた、新京から委員として出席するものは左の如くである

石崎廣治郎、中山佐吉、周景昌、孫秀三、與平廣敏、山內寅東、永原岩雄

坂田中佐挨拶に歷訪

關東軍參謀第四課長坂田中佐は九日新任挨拶のため本社初め各方面を歷訪した

新年挨拶に 八田副總裁來京

八田滿鐵副總裁は武藤大使、小磯參謀長、滿洲國要人に新年挨拶のため九日午前八時新京着列車で各理事を伴で來京した

張文鑄司令 日本に留學

蘇炳文の逍走、徐景德の歸順により黑龍江省內の治安はいまや全く恢復したので黑龍江省警備司令張文鑄氏は豫ての宿願により來る三月頃新京に來り次で日本に留學陸軍大學に入學することゝなつた

繼母に虐待され十三少年家出す
大連の親戚へ無錢旅行の途　專務車掌に發見さる

七日午後十時新京驛發上り列車中に十二、三歳位の少年が無賃乘車してゐるのを專務車掌が發見し列車が范家屯へ到着すると共に直に下車せしめて同署にて調査をなした結果

右は新京室町二丁目貫一の長男山田源(一三)で繼母である松岡チヨノ(三六)が源を地下室にかんきんして食事も碌々與へず、日每夜每にぎやくたいを加へるのでそれに堪えかねた

源は大連の親戚を頼つて難をのがれる事に意を決し、その途中である事を涙ながらに物語つたので新京署保安係へ紹介同署では實父及び繼母につき調査中である

徐景德軍歸順で
黒河住民再生の思ひ　入京した一商人の實話

前日黒河から入京した同地に十數年在住する商人李振山が黒河の現狀に就て語る處によれば

黒河は徐景德が反滿兵變を起した爲め交通杜絶し食糧缺乏に陷る事八ケ月に及んで商取引は止まり銀行大商店は閉鎖して今尚開店せず小商洋が僅に兵士の掠奪品を買入れて販賣してゐる慘狀に乘じて蘇聯極東貿易公司が麥粉、海産物、砂糖、燐寸、綿糸布煙草、マッチ等の雜貨を搬入して巨利を占め昨年中の利益百萬元と言はれてゐる、此の極東貿易公司の出現で物質の缺乏は幾分緩和せられたがそれでも兵變前に比して數倍乃至十倍の高價であり、其の上徐が政府紙幣二百六十萬元を發行し人民に强要して居るので住民は一日も早く日本軍が入城して此の苦境から救つて呉れることを熱望してゐる、それが爲め商務會長畢鳴山は人民を代表して徐に前後十數回に亘つて滿洲國歸順を請願して居る

今回蘇炳文軍が敗退したとの報が黒河に傳へられるや先づブラゴエの中國領事が逃走し次で實業廳長周保吉中國銀行主任何成集、交通銀行長于某、官銀號支店長劉某、電報局長程大業等の反滿分子は何れも浦鹽經由上海方面に逃走した爲め親滿派の勢力が強くなり流石の徐景德も遂に王參謀長をチチハルに派遣して誠意を示す事になつたものである、此の徐の歸順決意に依つて住民は不安緊張より解放せられ市中は苦しい裡にも再生の喜びを見せ黒龍江上流金鑛地方の避難民も續々歸宅してゐる

在滿皇軍現狀を
小磯參謀長　ラヂオ放送

關東軍參謀長小磯國昭中將は來る十日午後八時卅一分(日本時間九時三十一分)新京スタヂオより日本に向け現在の軍情についてラヂオで八千萬同胞に呼びかける事となつた山海關問題重大化せんとする現在の時局に對し關東軍最高首腦者たる將軍の大聲は全國民の聞かんとするところなるべく新京放送局では中繼に萬全を期すべく努めてゐる

丁超の歸順
歸順取扱委員を要求

〔ポグラニチナヤ九日發國通〕齊山を逃け出した丁超は二日賓清より使者を我軍に派し五日住木斯より進辭せる飯塚枝隊と夾心子にて會見し左の條件を示し歸順の意を表し、尚丁超の部下も歸順の誠意を持つて居る

一、部下は歸順取扱委員に委ねハルピンに歸り新國家に歸順せんと欲す

一、滿洲國は戰鬪行動を中止し速かに歸順取扱委員を派遣せられたし

東寧城内の王德林匪
城内外を警備

〔ポグラ九日發國通〕七日東寧方面より歸來せる密偵の報告によれば王德林は手兵僅かに三百を率ゐて城内にあり、城門を固く鎖して門外の交通を遮斷し城門外支那街には蟻のは入る隙もなく、部下を配備嚴重なる警戒をなし、出入者を全部眞裸体にして檢査をなし外部からの出入は絶對不可能で、内部の狀況は一切知る由も無いが、近郊には尚三千の兵力集中し陣地を構築しポグチ街道には各所に二三百づゝを前衛部隊として配備頗る嚴重なる監視をしてゐる

古賀聯隊の弔合戰
三宅隊長出動

〔錦州八日發國通〕山海關事件勃發と同時に遼西一帶の僞勇軍及び匪賊は策動を始め殊に錦西方面に出動せる兵匪東圖が錦州を衝かんと我警備線に接近しつゝありとの情報により我が錦州騎兵部隊は三宅隊長指揮の下に八日午前六時朝闇を衝いて出動した、此は恰も古賀聯隊長の一周年に當り其の弔合戰とも見られ一大討伐が行はれんとしてゐる

南部線列車時刻表改正

東鐵南部線列車時刻は十二日から左の如く改正される

第四列車(新京發八時四十分　哈爾賓着十四時卅五分)

第十二列車(新京發十時四十分　哈爾賓着廿時〇〇分)

第三列車(哈爾賓發九時十五分　新京着十五時卅九分)

第十一列車(哈爾賓發十時三十分　新京着十九時五十五分)

新京署の無電
一兩日中に完備

新京署の無線電信設置の事は既報の通りで高橋警務主任は引續き準備に大童となつてゐた處、待ちに待つてゐた受信機も九日いよ〳〵到着したので司法係樓上の無電室に設置すべく整頓を行つてゐるからこゝ一兩日中には完備する筈である

多門將軍等
原隊に凱旋

〔仙臺八日發國通〕多門師團長始め上野參謀長以下幕僚並に野砲第二聯隊第二中隊の將兵を乘せた軍用列車は八日午後零時二十分全市の熱狂的歡迎裡に約二年振りで原隊に花々しく凱旋した

窮鼠劉景文
遂に捕縛さる　部下全部も武裝解除

各方面からする討伐隊の急追を避けて三角地帶内を逃げ廻つてゐた劉景文は八日午後四時牌坊溝(岫巖東方四里)にて騎兵〇〇隊中島隊の爲捕縛され部下全部は武裝解除された

陣中美談
南滿三角地帶(下)
平定の殊勳者　勇敢無比の木下兄弟

「……いて明日こそは亡き友の仇をと誓ふ我が勇士」の友を兄に代へて唱つて居た木下中尉は今年四月二十日立川を出發して錦州飛行〇〇中隊附偵察將校として勤務した、五月中旬には奉天飛行場に躍進して東邊道の討伐に、六月からは「ハルビン」に躍進して馬占山軍討伐に從事し、それから遼西附近更に第二次東邊道、次で吉長、奉龍地區討伐に十二月にはこの三角地帶の討伐に從ひ到る所で殊勳をたてた、木下中尉の生命を間接に救つた大石橋飛行場に居た少年は大石橋小學校尋常四年生で只野正男君と福田稔君である、迅速に電話をかけた處置は子供とは思はれない程立派である、流石は第一線に育つた滿洲つ兒だ二少年の行動は滿洲戰場を彩る愛國美談と云はなければならない、又此の少年の報に接して活動して呉れた大石、や遼陽の滿鐵の方々の機敏な努力、兩看護兵の獻身的輸血等感激の外はないかくて木下中尉は重傷ではあるが生命には別條なきを得た

木下中尉の負傷は無駄ではなかつた、此の飛行機の報告に依り初めて岫巖の狀況を知つた獨立守備隊司令官は直に此の情報に依つた新に作戰計畫をたてられ今日岫巖には再び日章旗が翻へる事になつたのである

感謝狀

陸軍一等看護兵　岩崎卯三郎

陸軍一等看護兵　佐納勇次

今回の三角地帶の討伐に當り飛行第十大隊第一中隊の八八式偵察機第一〇三三號(藤田大尉操縱木下中尉偵察)は偶十二月二十三日岫巖上空に於て敵匪軍の猛射を受け偵察者木下中尉は左大腿部骨に貫通の重傷を蒙れり然れ共機上に於ては手當を施す術なかりしを以て負傷後一時間三十分飛行して遼陽に到着せし際は多量の出血の爲脈斷へたり、此の狀態に感激せる岩崎、佐納兩看護兵は自己の危險をも顧みず各二百五十瓦の鮮血を捧げて輸血、供し辛うじて中尉の生命を救へり

兩看護兵の行爲は正に熱烈なる愛國心の發露にして將兵一同を感激せしめ中隊の士氣爲に大いに振ふに至れり

爰に衷情を披歷して感謝の意を表す

昭和七年十二月二十八日

關東軍飛行第十大隊

第一中隊長

陸軍航空兵大尉　藤田雄藏

來る廿二日は戸外デーです
一人も殘らず戸外で新しい空氣を吸ひませう

來る二十二日全滿一齊に行はれる第三回戸外デーに際し新京ではこの日を有意義にし且つ多くの人を戸外に進出させるやう目下地方事務所社會係では種々計畫中であるが、第一の催しものとして當日をスケート祭とし、西公園スケート場でスケート大會を開催、且に同公園に寶を埋め婦女子のもつと興味をそゝる寶探しをなすことになつた、又新京美術協會では當日西廣場小學校々堂寫眞、日本、洋畫の展覽會を開催する豫定で目下準備中である、なほ出品者は二十日迄に同協會に屆けられたしと

全日本學生庭球聯盟
本年度ランキング發表

〔東京八日發國通〕全日本學生庭球聯盟では八日本年度學生ランキングを發表した、右資料は學生聯盟主催諸大會の成績を重視した爲め一般のランキングとは多少の相違あるべくシングルスで慶大山田、早大佐藤次郎、ダブルスで早大河内、宇治、山岡、吉川、河内、佐藤、關西學院川崎、木下は資料不足の爲めランクするを得なかつた

△シングルス　布井(神商大)辻(早大)河内(早大)伊藤(神商大)西村(慶大)藤倉(明大)宇原(關學)堀越(關學)山岡(早大)村木(慶大)

△ダブルス　西村村上(慶大)堀越宇原(關學)布井伊藤(神商大)辻山岡(早大)後藤楠本(東大)

代書人に警察から注意

新京署保安係では最近著しく瀕出する家屋訴訟事件に鑑み九日午前十時から代書人全部を本署樓上に呼び集め齊藤主任及井上警部補から將來に對する注意を與えた

國際列車も
九日から開通

匪賊の爲永く杜絶してゐた東部線も我軍のポグラ占領により東部線一帶は平穩に歸し國際列車も九日から開通した

分水、他山間
線路破壞さる　脫線し修理に六時間

九日午前二時三十分頃連長線分水、他山間(大連起點一百五十一粁)に奉天發貨物列車八一號が差懸つた際匪賊のため上下線路一メートルを破壞されおつたため脫線したが幸に人畜には支障なかつた、復舊には六時間餘を要するため午後四時大連發新京着の旅客列車は奉天から臨時列車を特發し安奉線奉天、新京間の旅客の便をはかつた

傷病兵と遺骨
歸る

服部第〇〇國庵ドの通信班步兵伍長田村幸男、同上等兵佐藤幹之兩勇士の遺骨は八日午後三時三十五分、小磯參謀長をはじめ部ド各團體の出迎へを受けて新京到着、四時三十分新京發故國に向け悲しき凱旋の途についた

田村伍長は昨年十二月九日夕ヤラントル占領の際佐藤上等兵は一月一日東部線國境馬頭石に於て匪賊討伐の際共に華々しき名譽の戰死を遂げた勇士である、尚同時に到着した六十名の傷病兵は岡村〇隊所屬で東部線の匪賊討伐に活躍せる勇士達であつて内二十名は直ちに新京衛戍病院に收容されたが四十名は鐵嶺衛戍病院に收容さるべく午後四時卅分發列車で南下した

奇篤な少年

去る二日朝日通派出所へ十二歳前後の日本人少年が出頭しこれは僅かですが兵隊さんの慰問の一部にあてゝ下さいと金一圓五十錢を紙に包み屆姿を消した、係員が取調べた處おは日本橋通六十六番地廣岡敬一(一三)さんと判明した

血盟團事件で
直訴準備中逮捕さる

〔東京九日發國通〕昨八日午後二時雜司ケ谷附近を徘徊中の擧動不審の男を檢擧し取調べの結果茨城縣那珂郡五室村山田忠一(三十二才)で血盟團の井上日召や愛鄕塾頭〇〇の敎を受けたが愛鄕塾頭が五、一五事件に連坐し檢擧されたのに憤慨して釋放方を直訴せんとし觀兵式行幸の聖上陛下を待ち受けたが警戒嚴重で果さず徘徊して居たものと判明した

鄭總理閣下の日常について(上)
ジー、テー生

私は世界注視の的であつて而も帝國々防の第一線である事變地滿洲に國民の輿望を一身に擔ひつゝ勇躍して母國を立つたのは去る昭和七年五月七日でありました。そして五月十一日には當新京に到着致しました。全土に戰時氣分は横溢し上下擧げて緊張した赤い夕陽の滿洲、果しなき雄大さに感激しつゝ慣れない異國の空で約一ケ月間勤務し、爾後鄭總理閣下の日常に親炙し得る各種の機會を得たのであります。

×

私は正に日滿親善の心臟部に等しく剏來日本國民の眞價を知つて頂くの絶好の機會であることを念頭に細心の注意を拂ひつゝ勤務し、既に半歳は過ぎ慌しかつた滿洲國建國第一年次も閣下の身邊と共に無事に過ぎ新しき年を迎へることになりましたが同國發展の爲に衷心慶賀に堪へない次第であります。

×

建設の第二期に入つた新年の目出度い今日甚だ一趨の極みであり且私如きが高潔無比の閣下の人格の片鱗をも表現することは出來ないのでありますが、其の一端を申述べまして我が愛する滿洲國々務總理の日常を知つて頂きたいと思ひます

×

閣下は本年七十四歳だと承つて居りますが、ごうして此の日常が七十餘歳の老聖と見られませう。そんなにも御老體なのかと思はれる程珍らしい健康体でありまして壯者と雖も遠く及ぶ所ではありませんそれはやはり永年の保健法と徹底せれ人生觀と、鐵の如き信念の凝結に外なりません、先日も雄渾な例の筆致で「不知老／將至」と揮毫して居られましたが、これこそ老總理の闘老信念であらうと深き感激を覺えました、世に「壯者を凌ぐ」と云ふ言葉がありますが此の言葉は閣下を評する爲に創られたものではないかと思はれる程であります。

×

朝は四時に起床されます。あの有名な建國宣言や、王道の要義はかうした清々しい氣分で起草されたと伺ひましたが滿洲國の前途の爲大に力强い感じが致します。一日に三十名は缺かされない面接者、建國匆忙にして山積した國務を處理裁決する一方、國民敎育の重大なるに鑑み、自ら文敎部總長として、日夜心を碎く名士の揮毫依賴も快く受けられ、一面滿洲建國史を著述し猶且詩文を藻るの餘裕あるは正に健康そのものゝ表現でなくて何でありませう、青年の我々すら驚嘆に言葉も出ない次第であります。

×

日常の起居出退廳等總て時間を正確に定められ、それを嚴守する點に於て一分一秒の狂ひもない等、實に從來の支那大官には殆ど見られないことなので、新興大滿洲國の大宰相として、恰も國家の前途をトするかのやうであります この總理を得たことは滿洲建國の最初の最大の收穫ではないかと思はれます。

最も規律の正しい國家こそ、將來の大をなすもので、國務總理の最高職にある閣下が、國務院の屬官の出勤しない十分も前に早も出動し、四時を過ぎざれば斷じて退廳されません。總理はこの一事が萬事です其の規則正しい生活は實に敬服せざるを得ないのであります

花街

これは曾我酒家の松吉姐さんであります、今年二十五才の酉うまれなので元旦にその寫眞を御紹介する筈だつたのですが寫眞の屆け方が少しおくれたので、あと廻しとなりました、ところがお正月になつてから、記事が輻輳するので、明日にしやうあさつてにしやうでまた延び〳〵になつてしまつたのです、然しまだおくれたと云つても、あと三百五十五日は廿五才だからさしつかへないでせう、本名は山口エン、もつとくわしいことは本人から聞くべし曾我家のナムバーワン御紹介終りッ

ラヂオ欄

十日(火)

奉天後五、〇〇　レコード　錢行　金銀相場商業通信社

新京後五、二〇　演藝

新京後五、四〇　講演　協和會活動の狀況　協和會員　黄建勳

東京後六、〇〇　ニュース　東京中央放送局編輯

新京後六、二〇　時事解說(滿洲語)　氣象通報及プログラム豫告

新京後七、三〇　ニュース(支語)

新京後七、四五　ニュース(露西亞語)

新京後八、〇〇　ニュース(朝鮮語)

新京後八、一五　ニュース　氣象通報、放送局編輯及プログラム豫告

東京後八、三〇　時報

新京後八、三一　講演(内地向)　關東軍參謀長陸軍中將小磯國昭

東京後八、四五　ニュース　東京中央放送局編輯

天氣豫報

明日の天氣北東の風曇後晴れ

けふの溫度高　一三、四低一九、四

凄艶紅涙双

鈴木彦次郎作　飛鳥久緒畫

(一七四)

「あッ！あの聲は？」

雄馬の胸は、早鐘をうつた。すかし見れば、まさしく山門前に俯伏してゐる手負ひの武士——しかも、さゝやら、阿部さ覺しき姿！

雄馬は一足飛び。——近寄つて月をたよりに覗き込めば、紅く染まつた凄愴な顔！

「おッ！阿、さうごした？」

「おう。……星、星台がッ！無念ざや。や、やられたッ！」

さぎれ、さぎれの悲痛な叫び。——扶け起して傷口を確めれば天風組の智者星阿部島之助たざんや右肩深く斬り下げられ、溢るゝ血潮は、雄馬の手の平にべつとり！

「阿部、確かりしろッ！これしきの怪我で、氣を落す奴があるか。大丈夫だ。さゝ元氣を出して、俺の背に。……」

「星合、よせ！氣休めは云つてくれるな。俺の傷は俺がよくわかつてる。き、君に、逢ひたさにまだ、死ねずにいたんだ！」

「チッ、弱音を吐くな。なに血さへとまれば心配ないぞ。——誰だ、相手は誰だッ？」

なごゝ、しきりに勵ますが、その實、阿部の傷は、大分重いらしい。呼吸も、既に切迫し、たださへ蒼い顔色が死相を帶びて、月蔭に、すごく、いたいたしく…………

「おいッ、相手は誰だ！佐度の廻し者がッ！」

雄馬は耳許に、口押し付けて叫んだ。

「そ、さうだ。はつきりは、わからぬが、拔討の冴え。——畑勘七だ。」

「おゝ、佐渡の氣ゝ筋の——」

「うむ。不覺だつた！今後の取るべき途を無中に考へ込んできた矢先。も、もの云はず横合ひから、バッサリ——拔く暇かなかつた、殘、殘念だ。」

「チエッ！して、奴は？」

「星合用心しろッ！その癖、奴は、忽ち姿を消した。俺はさうせ駄だ。君、用、用心せいッ！氣をつけろ！」

阿部は、かすれゆく聲を勵まして、血たらけな手を振りながら、しきりに、友へ注意を與へる。雄馬は、たゞ淚——その手を、かたく握つて、うなづきかへす途端。

「タッ！」

突如、背後に響く地を蹴る足音！同時に、ピウさ、夜風を切つてきらめく劍影！

「おッ！」

斬られしか、雄馬？

——さ、見えた。一刹那！大裕か？それさも手練の早業か？瀕死の阿部を抱いたまゝ、さつさに、見を廻つて、太刀先三寸、危く避けた星合雄馬、友を地上に下した右手は、直ちに、愛刀の柄に——

「しまッた！」

「云ひさま、いらつて、振り下す二の太刀をいきなり、軀を左へ倒して、引ッぱずすが早いか、右足に力をこめて、つくさ立ち上るなり、すらり拔き放つた太刀。素早く中段にさつて、もう、充分な身構へ！六尺有餘の相手に向つてぢりりぢりり、押し迫る。

敵は、卑怯にも覆面ながら上段に振かぶつたその太刀先から見ても、戸田流の柄ひ手畑勘七。——佐渡子飼の劍客である。

力量、まさに互角。——だが、勘七は、二太刀までも引ッぱづされたあげくさて、折角の先手が後手に廻つた弱味——一歩、一歩追ひ詰められて、既に屛際！

切端詰まつて、大喝一淸！

「やあッ！」

さ、斬つてくる捨て身の一刀を雄馬は、かるくいなして付け入りざま、同志の仇敵、思ひ知れ、さ一心こめて斬り下げた立花流極意の殺劍、斬りも斬つたり、敵の右肩から、みごさな袈裟斬り。——

新京日日新聞

石本權四郎氏 監禁半歳にして尚ほ無事生存中
湯の滿洲國攪亂事實判明
けふ記事解禁さる

昨年七月十七日錦州より南嶺に赴く途中暴虐なる學良僞勇軍のため拉致され、其後學良の使嗾と湯玉麟の日和見的態度により關東軍のあらゆる努力にも拘らず救出不可能だつた關東軍囑託石本權四郎氏の消息に就ては昨年八月卅一日以來同氏救出交渉の必要上一切の記事掲載を禁止されて居たが本日解禁されるに至り、一時銃殺説を傳へられた氏が監禁半歳尚生存し居る事判明すると同時に、玆に學良並に彼に完全に買收された湯玉麟の陰險極まる滿洲國攪亂運動が全面的に暴露さるるに至つた

拉致事件の經過

問題の石本權四郎氏は土佐の産有數の滿蒙通として北票に向ひたる歸途七月十七日午後二時北票發錦州に向つて歸來の途列車が南嶺驛附近に差掛つた際豫て待伏せて居た元奉山鐵路警巡丹楊鍒の指揮する僞勇軍卅名が突如同列車を襲撃之を急停車せしめて、虱潰しに列車內を搜索、危險を感じて椅子の下に身を潛めた石本氏を引摺り出し多勢に無勢、力盡きた氏を逮捕、拉致直ちに之を當時朝陽鎭西南卅支里三寶營子に駐屯して居た北平國民軍熱河直轄第一枝隊第一師司令李海峰に引渡した

僞勇軍は何故 石本氏を逮捕した

石本氏は有數の滿蒙通として七月初め單身北票に乘込んだものであるが湯玉麟の身邊にあつた一部反滿洲國分子は右に關し湯の反滿熱を煽ると共に石本氏が北票に來りたる旨學良に打電した、學良は石本氏の手により湯玉麟と滿洲國は親密の度を增すに至るべしとなし、極度に驚愕直ちに北票に一個大隊を率ゆる王德林に對し、同地附近一帶の僞勇軍首魁李海峰と聯絡し石本氏を拉致すべしとの密電を發した王並に李は石本氏を拉致すべくあらゆる手段を講じて石本氏の動靜を探査、石本氏が北票を往來する每に「荷物乘つた荷物乘られ」の暗語を用ひ氏を狙ひ遂に七月十七日氏の拉致に成功したものである

石本氏よりの手紙

石本氏が朝陽から石本鎭太郎氏並に夫人かつさんにあてた最近の手紙は十一月廿日に一本十二月十五日に一本あるが發表出來兼ねる事が多いさうであるが大要左の如くである　この手紙は支那人に託する

皆に永らく心配をかけて濟まない、今回の發信が長びいたのは李師長（李海峰のこと）が旅行中であつた爲め今日やつと檢閱を得る事が出來た。目下朝陽で保護されてゐるから安心を乞ふといつたもので、今年に入つてからはまだ一本の手紙も來てゐない、石本氏救出については先に上西青年が躍り、今また甥の刈谷青年が出馬して居る事は不思議な運命である

安堵の 石本夫人語る

奉天にある石本氏夫人かつ子さんを訪れると永月の心配にやゝ焦悴の色を見せてゐた

色々皆さんに御心配をかけて濟みません、たゞ今主人の甥刈谷一郎（二十二）が錦州にゐて石本の救出に當つてゐます、何分永い月日のことで主人が殺されたといふことは二、三回聞かされその都度どんなにがつかりしたことかしれません、兄の石本鎭太郎は只今東京の兄が逝くなりましたので後始末に行つてゐますが昨夜電報が來て「權四郎の身の上に又何事か起つたのか」と問合せが來ましたが返事のしようがなく弱つて居ります

捕らぬ狸の皮算用 僞勇軍の誤算

李海峰、楊鍒一派が石本氏を拉致するに至つた一因は石本權四郎氏の郎の字は熱河で貴族の號稱であり、同氏の令兄を現大連市長と思ひ（令兄は曾つて大連市長たりしことあり）絕好の人質一擧兩得と飛付いた譯だが、意外に事が重大化したので今更ら空恐ろしく、いくらかの金にでもなれば手放したいのは山々だが今更手放せば僞勇軍の一擊を免れず、あぶ蜂取らずになつたのは馬賊らしい誤算で全く捕らぬ狸の皮算用であつた

救出に闘する 我軍の忍從と努力

石本氏拉致さるとの報一度錦州第〇團司令部に傳はるや、義州守備隊並に錦州部隊は急遽出動同軍裝甲列車朝陽驛前に差かゝるや學良並に湯玉麟より

「遂に石本拉致に成功した、之れがため日本軍熱河方面に進出せば直ちに之を阻止すべし」

との命を受けた王德林は僞勇軍をして我裝甲列車顚覆を企て列車は危機一髮危く顚覆を免れたが、敵は山上より猛射を浴せ來り、我軍勇敢に之に應戰遂に之を擊退現場に急行したが敵は既に石本氏を拉致して逸早く逃走し我軍は已むなく引返した、其後我錦州第〇團司令部は湯に對し石本氏引渡要求の電報を發し、一方吉岡參謀をして鄒子峰並に北平にある湯の子息湯左輔等と交涉、或時はラマ僧を用ひ或時はフランス宣敎師の好意的助力を藉る等あらゆる手段を盡して救出に努めたが、いづれも失敗に歸し肝心の湯は言を左右にして應ぜず、救出絕望に至つたので遂に實力救出の意を決した錦州第〇團司令部は第〇隊をして三寶營子を包圍強制救出を企てたが、惡運强き李海峰は辛くも血路を開いて石本氏を連れて北票兩方八圖營子と奔牛營子の中間長寶營子に逃れ我强制救出は遂に失敗に歸した、其後も屢々熱河當局に引渡しを要求したが全く誠意なく最近は返事も來らず今や同氏の救出は全く絕望に陷るに至つた

この暴虐を見よ

石本氏の救出は今や全く絕望に歸したが、完全に學良に買收された湯玉麟はあく迄我を愚弄し最近は大兵を省境に集め、我軍に對して挑戰的態度に出でつつあり、一方學良は極力之を使嗾すると共に續々軍を熱河省境に進めつつあり軍費の支給なき僞勇軍は熱河全省に亙つて掠奪姦淫あらゆる暴虐を極め居り、一村の食糧盡くれば他村に移動人妻たると娘たるとを問はず彼等の通過する跡全く處女なき有樣である石本氏救濟の日は果して何時か、熱河省民は手をあげて王道の光を待ち望みつゝある

石本氏に關する諸情報

（奉天十日發國通）滿鐵に入つた情報によれば左の如くである

石本氏銃殺說が傳へられたのは一ケ月程前のことであるが最近北票の馬賊馬子丹手許に監禁されて居る馬は日本側及び湯玉麟の中間に立つて一石二鳥主義をきめ込み惡辣手段をもつて石本氏を喰物にせんとしたので湯は馬一味を討伐せんとしたが馬の部下は自己の安全を圖するため石本氏を殺害すべく決意したが遂に果さず、結局氏の眼部直下に重傷を負はしめたもので目下北票で治療を受けてゐる

又關東軍に入つた情報によれば左の如くである

以前石本氏は熱河の土氏軍李海峰の手に監禁されて居たが最近完全に學良正規軍の手に移されて居り寧ろ石本氏の生命は以前馬賊の手に在つた時より安寧だと觀て居る

兩陛下及兩內親王殿下 本日葉山御用邸に行幸

（東京九日發國通）天皇、皇后兩陛下には新年の儀式も一先づ了へさせられたので午後一時二十五分宮城御出門孝宮、順宮兩內親王殿下を御同伴同三十五分東京驛御發葉山御用邸に行幸遊ばされた兩陛下には十九日の御講書始二十一日の御歌會始に御出の爲十七日御揃ひで還御遊ばされる御豫定である

最近の石本氏の消息

三寶營子より逃れ尙ほもひしひしと我軍の手の迫るに恐れをなした李海峰は一時朝陽を去る東方十キロの一寒村に隱れ同地に石本氏を監禁してゐたが十二月に入つて朝陽東方卅支里高板子溝に移り現在石本氏は同地の帮純德なる者の邸宅望樓に監禁されて居る、傳へ聞くに六ケ月の監禁生活に氏は全く見る影も無くやつれ、髭はぼうぼうとして半病人の有樣である、廿名の監視兵は嚴しく門口を固め食物としては高粱のかゆに味噌をつけたねぎで全く涙なくしては聞き得ない無殘な生活を續けてゐる

山海關事件 交涉開始の運び
日本側の代表は三浦參謀 學良代理は何柱國

（錦州九日發國通）山海關事件日支直接交涉は支那側の提議により愈々近く交涉開始の運びとなつた、而して場所その他左の如し

一、交涉地點　山海關
一、日支代表
日本側　支那駐屯軍司令官代理　三浦　參謀
支那側　張學良代理　何　柱　國

而して日本側は山海關附近の兵備、我軍の提出條件を完全に支那側が實行せるを確認するまで現狀を維持することを前提とする旨闡明してゐる

熱河軍愈よ積極移動開始 北支にも重大影響

（天津九日發國通）奉山線綏中附近で日本軍の後方連絡を遮斷せんとする學良の指令に依り熱河軍は積極的移動を開始し同方面の形勢は愈々重大化して來たが、熱河方面の情勢進展如何では北支方面にも相當大なる影響あるものと觀られ今後の學良の態度大に注目されて居る

孫科蔣介石と再合流

（上海九日發國通）上海に在つた太子派の首領孫科は昨夜上海市長吳鐵城及び馬超俊を從へ南京に向つた、今朝南京着同氏は本日午前立法院長に留任、直ちに政府要人と山海關事件に關し最後決定の重要會議を開催することとなつた

米紙特派員 眞相調査に山海關へ

（奉天九日發國通）米國アソシエイテツド・プレス滿洲特派員ジエイムス、ミルス氏は山海關事件の眞相調査並にその後の實情視察のため日本軍の諒解を得て本九日朝當地（奉天）發の奉山線列車で山海關に向つた

落合隊長に 內部的解決を懇願

（錦州九日發國通）秦皇島に在る何柱國は八日山海關落合守備隊長に對し左の如き書信をよせて來た

今回の事件は自分の不愼の致す所で實に遺憾である、自分は誠意を以て和平解決を望むも事態擴大して力の及ばざるを如何せん貴軍と學良との間に板挾みの苦衷を察せよ兎角自分は全力を盡くして內部的解決に努力するから至急返信を乞ふ

聯盟の權謀に 外務省斷乎對抗せん

（東京九日發國通）日支問題討議の十九ケ國委員會再開の十六日を前に控へ、ブラツセルでは佐藤代表がイーマンス氏と會見し、ジユネーヴでは杉村氏とドラモンド氏との會見が行はれ東京ではリンドレー大使が內田外相と會見、夫々委員會の決議案をめぐつて折衝を重ねてゐるが、右折衝の經過に於て注目すべきは聯盟がその態度を硬化し我國に對し威嚇的態度を示してゐることである、即ち右三所の會見に於いて聯盟側は對日決議案に對し表面は日本側に互讓妥協を勸告してゐるものの、日本が强硬に主張する滿洲國存在の事實を凡ゆる交涉の前提たらしむべしとの點に至つては之を曖昧ならしめんとの手段に出で、若日本が之以上讓步せざる場合に於ては規約第十五條第四項の和協手段を採用し勸告に出るは不可避的狀勢にありと明言し、以て日本側を威嚇して居る、右に對し外務省は聯盟が愼重公正なるべき本來の立場を忘れ、權謀術數を事とする舊式外交習慣に出でつゝあるを遺憾とし聯盟側が飽く迄右の如き不謹愼な態度を採るに於いては我國としても十九國委員會開會の曉は斷乎宣戰的態度を以て臨むに決定してゐる

商議初議員會議

新京商工會議所では十四日午後三時から同所會議室で初議員會議を開催し滿洲國々都建設局の計畫事業に對し答議することになつた

聯盟が手を引けば日支直接交涉

（東京九日發國通）十九ケ國委員會は十六日再開され日支問題が論議されるが、委員會の努力にも拘らず第十五條三項の和協手段が發見されねば必然的に十五條第四項が發動される事になるだらうが、右に對し外務當局は樂觀してゐる即ち第十五條四項は勸告をのせた報告を作り公表するもので單に心理的に壓迫するに過ぎずして此の場合第十五條五項に依り當事國は紛爭の事實及びこれに關する自國の決定につき陳述書を公表し得る故理事會の勸告に對し堂々その非をならし世界の輿論に訴へ得るから心配無用との見解で第十五條四項の勸告に依り制裁規定を顧訴の如きは杞憂も甚だしいとしてゐるから結局聯盟が日支問題から手を引けば日支兩國は新らしく直接交涉開始する機會に惠まれるとして樂觀的態度である

新京事務所 管內現在在貨

新京鐵道事務所管內在貨は新年に入り特產持込みの減少と貨車繰の圓滑により一月一日現在の二十七萬九千八百十一噸に對し八日現在は二十三萬八千三百二十噸と、四萬一千六百九十一噸の減少を示してゐる、即ち

	一日現在	八日現在
滿鐵	一三〇、八〇三	九〇、七九一
四洮	三三、三六三	四一、六二九
中東	三四、六九〇	三九、八六〇
吉敦	七〇、八六六	五八、九四〇
合計	二七九、八二一	二三八、三二〇

なほ舊正月を前に控へてこの中旬一杯は特產出廻り最高期に入るものとして輸送の圓滑を期して居る

農村負債整理案 今議會に提出されん

（東京九日發國通）政友會の山口幹事長は昨八日午後二時半東京驛發高橋藏相を葉山の別莊に訪問して「農村の財債は相當深刻で政府に於て徹底した法案を出さねば黨內が治まらず」と農村負債整理案の議會提出を要望し高橋藏相は「後藤農相にも話したから提案さならう」と答へた

大角海相 辭任迄の經緯

（東京九日發國通）後任海相決定の事情は最初は海軍部內の諸事情に鑑み安保大將が有力であつたが岡田海相が推薦したのと政友會との對議會策上大角大將に決したもので、五一五事件の責は一旦辭任の上は解決した譯である

政友の對議會陣容

（東京九日發國通）政友會は午前十時から本部に臨時總務會を開き對議會策を協議の上午後二時初幹部會を開き諒解を求めた、目下の所首腦部の意向は施政演說には準與黨たる以上總裁は出ず政策本位で臨み、政務調査會關係者を出し政府の所信を匡す方針である、即ち第一陣は島田院內筆頭總務か山崎達之輔氏かで政治一般の總括的質問をなし、第二陣は豫算問題を右二名中第一陣に出なかつた者第三陣は財政問題を大口喜六氏、第四陣は產業問題を若宮貞夫氏、第五陣は外交問題を蘆田均氏の順を通じて本會議を占め、豫算總會に砂田重政氏、田子一民氏、太田正孝、津雲國利氏等の闘將を送り、司法部內の重大問題には適當な機會に秘密會議を要求し、場合によつては齋藤總理や小山法相の責任をも問ふ筈である

新京輸入組合 十二月分成績

新京輸入組合の昨年十二月分の營業成績は次の如く相當好成績を示してゐる、即ち

一、貸付及び回收狀態は十一月中の貸付件數一七〇件、金額合計金十萬七千九百六十八圓で右に對する回收件數は一五九件、金額合計金九萬八千七百六十圓、未回收殘高合計金二十二萬二千三百四十一圓となつてゐる次に

二、商品仕入れ總額は金十萬七千九百六十八圓でこれを仕入れ先別に見ると左の如くである

內地　金三萬六千五百十四圓也
大連　金一萬四千二百四十二圓二十二錢也
滿鮮　金四千三百七十二圓也
現地　五萬二千八百三十九圓七十八錢也

三、組合員出資持口數は普通出資一、三四二口、特別出資口數六三〇口、合計[illegible]二口で其出資拂込額は普通出資拂込額金十三萬七十九十二圓二十錢、特別出資拂込額金一萬八千九百十六圓十二錢、合計金十六萬六千八圓二十四錢である、次に十二月中に於る購買傳票に就て見るに取扱高金一萬二百十五圓八十九錢也、取扱店數七十二店使用個所六十二個所使用人員七三七名で

四、商品券發行高は二千六百十七圓に達した

全滿輸入組合 理事協議會

全滿輸入組合理事協議會は來る二十一、二兩日大和ホテルで開催することに決定した

輸入組合の抽籤 けふ行はる

新京輸入組合の建國記念歲末大賣出しは豫想以上の好成績を見せ總額十五萬圓を突破することと五萬一千一百圓であつた、同賣出しの抽籤は十一日午前十時から同組合で警察官立會の下に行ひ一千圓の幸運者の發表は十六日と決定した

長谷部旅團 似島着

（廣島九日發國通）多門師團凱旋の第二陣先發隊たる長谷部旅團司令部以下步兵第四聯隊第一、第二大隊、機關銃隊の將兵を載せて御用船宇品丸は八日午後八時似島に到着した九日午前八時似島に上陸、檢疫を受けて同夜は船中に假泊、十日午前十時宇品に入港懷しい故國に上陸する

第二回自衛移民五百名 議會通過後實現されん

（東京九日發國通）昭和八年度滿洲に集結移住せしめる自衛移民は第一回と同樣約五百名の計畫の下に拓務省より之に要する經費三十六萬圓を今議會に提出して居るが陸軍では本年度の移民は中國地方並に南九州地方から選拔する方向の下に過日來兩地方に陸軍省軍務局長吉澤、今村兩中佐を派遣し同地方在鄉軍人分會にて優秀在鄉軍人の詮衡に就き調査せしめてゐるが、議會の豫算通過を俟つて直ちに人員を決定滿洲に派遣する事とならう

因果の兒をかゝへ 花街に働く女 でも呑氣なく話

市內三笠町滿洲裏御朝鮮人料亭於月抱へ酌婦秋子（二〇）と假名は去る四日頃いんがの子を分娩しその子の愛に引かされて勤める稼業がつくづく嫌になり廢業して歸鮮したいから百五十圓程の借金を棒引してもらひたいと九日新京署へ泣きついて來たので井上警部補は樓主を呼び出して色々と聽取した處前記秋子は前年四月朝鮮某所から抱えて來たもので其の當時既に誰かのいんがの種を宿してゐたのである、然し樓主は勿論本人も其の事を知らずに稼いでいたとの事で其の呑氣さに係員は苦笑してゐた、なほ秋子は子供を他人に預け相變らず浮籍の稼業を勤める

輸入組合の役員會

新京輸入組合では七日午後七時三十分から組合會議室で役員會を開催し左の事項を協議決定し同十時三十分散會した

一、十二月中の事務報告
一、建國記念賣出し經過報告
一、新規開業者に對する加入料金減額の件（從來一口六圓を半額）
一、全滿輸入組合理事協議會開催
一、滿洲における消費組合問題に關する根本對策の件
一、低利資金利用に關する件
一、新規加入者審議の件

なほ出席者左の如くである

久末理事、幹事　石黑仙次郎、西村清兵衛
評議員　岡田小太郎、吉田廣盛、茅本喜一、今井寬太郎、天野恒太郎、赤羽二二、乾辰二

郵便局事務員募集

新京郵便局では周知の如く郵便事務の異狀なる膨脹を來しつゝあるので同局では近く事務員の增員を行ふこととなり市內に確實なる保證人を有する二十五歲以下の純情なる青年で中等學校以上の學歷を有し思想穩健なる者に限り希望者は自筆履歷書を携帶同局郵便課迄本人出頭せられたいと

六十一回國務院會議

六十一回國務院會議は本日午後二時より國務院會議室に鄭總理以下各部總長出席、左の議案上程協議の上同四時三十分散會した

一、暫行懲治盜匪法施行法
二、國務院官制中修正の件
三、國務院各部官制中修正の件

二葉の開業

吉野町三丁目紀念館の前にレストランド二葉といふのが十日から開業する、表構へは冠木門に高粱がらを磨いたのと塀なぞかく凝つたもので料亭のやうだが中は大きなホールで小さい部屋も澤山あり主として洋食を調進しウエートレスも美しいサービスの巧みなのを多種集めてゐると

經濟

海外市況（八日）

倫敦銀塊現物　一六片一六分一
先物　一六片四分三
紐育銀塊　二五仙丁
孟買　休
米英爲替　三弗三四仙一六分五
米日爲替　二〇弗七一仙
米支爲替　二七弗四分三
スチール株　休
上海標金寄付　八〇四兩三

大連錢鈔（九日前場）

現物寄付　九八、〇〇　跡　九八、五〇
先物寄付新　九九、三〇　跡　九九、一〇

阪神相場（九日）

日米爲替一回賣　二〇弗八分五
一回買　二〇弗四分三

奉取相場（九日前場）

寄　一〇三、七五〇　高　一〇三、七八〇
引　一〇三、七八〇　安　一〇一、九八〇
出來高三三九　七千百　現物一〇　萬八〇

京取相場

高粱　先物（一月）　六、五〇　出來高二一車
同　先物（二月）　六、九一　出來高一一車
大豆　現物　一三、七〇　出來高　一三

城內錢鈔相場

鈔票對金票　九八、四〇
現大洋錢對鈔票　九七、九〇
監幣對金票　九七、三〇
現大洋錢對鈔票　九九、四五

滿洲國衛生行政概況

民政部衛生司長 張明濬

衛生行政の必要

西暦一九一一年「ドレスデン」に開かれた衛生博覽會の入場館の入口には「何程の富も汝に比すべきものなし、おゝ健康よ—」(K ein Reichtum gleicht dir 6 Geaund deti)と書かれてあつた。

國家富强の基礎をして鞏固ならしめんと欲せば國民身體の健康を保全しなければならない國民身體の健康を保全せんと欲せば宜しく民衆衛生思想の普及と衛生施設の完備とに努力しなければならない

顧るに西暦一九一〇年九月黑龍江省滿洲里附近に發生せしペストは日毎に猖獗を極め月餘にして全滿に蔓延し疫死枕籍誠に人類の最大悲慘事であつたと言ふ、又一九一九年より一九二六年に至る間殆ど毎年南方支那に發源せしコレラは海路、陸方面より滿洲に入り轉々として全滿を侵し人民をして戰慄せしめたと言ふ。

之一には滿洲地方は其の風土惡疫流行に好適なると共に他面國民の衛生思想幼稚にして衛生機關殊に防疫機關の不備に依るものであると思ふ。茲に於て滿洲國政府は建國以來意を三千萬民衆の衛生に用ひ着々として其の改善に邁進して居る以下我國衛生行政の概況を述べ樣。

行政機關統一

先づ衛生行政機關に於ては中央衛生行政機關としては民政部に衛生司を置き、衛生司に醫政、防疫、保健の三科を置き地方衛生行政を指揮監督して居る。地方衛生行政機關としては奉、吉、黑の各省に在りては警務廳衛生科、各縣に在りては衛生局、首督警察廳管內及東省特別區に在りては各衛生科あり、又新京特別市及其の他の市にも各衛生科があつて全機關統一を計りつつ所管事務を掌つて居る。防疫機關としては舊政權時代に設立せし哈爾濱防疫總處、營口海港檢疫處、安東海港檢疫處がある。政府はさきに此等機關に付詳細なる調査を完了せしが將來は此等の機關の內容を充實して大いに防疫の效果を發揮せしむべく目下着々計畫を進めつつある。今夏コレラ流行に當つては營口、安東の二海港の檢疫を嚴重に施行したと同時に山海關に國境檢疫處を新設して入國者に檢疫を施行して防疫に大なる効果を齎たらし得た事は能く人の知る處である。

法規制定

此の如く政府は機關の統一を計ると同時に極力從來の衛生に關する空文的各種の法規の改正に腐心中である。傳染病豫防法、海港檢疫法、醫師法、齒科醫師法、藥劑師法、阿片法、麻藥法、屠畜法等數十種類に上る法規は或ものは目下審議中である。

醫育機關の改善

次に醫育機關としては從來滿洲には吉林醫專、濱江醫專、奉天同善堂醫專、小河沿醫專等有れども其等內容の貧々弱なるに鑑み本司は目下此等醫學校の內容の充實を計り併せて完備せる國立公立の醫學校を增設すべく計畫して居る。

醫療機關の充實

滿洲に於ける從來の醫院藥局等の醫療機關は頗る貧弱であつたが故に滿洲國政府は建國創草全國各縣に救急藥置箱を設け又奉吉兩省各縣に施療團を派遣して病苦に惱める多數の窮民を救濟して至る所にて大なる歡迎を受けた、本月十九日には又技術優秀なる醫師並に看護人、助手に依つて構成されたる三班より成る大施療團を北滿に派遣した。政府は今後も機會ある毎に此種の施療團救護班を派遣して國家の恩惠に浴せしめる方針である。尚大都市には將來國立の一般病院に傳染病院を設置すべく目下計畫中であるが吉林省立病院は既に竣工を見去る十一月十五日より治療に從事して居る。又政府は地方醫療機關の向上普及を計る爲め公醫制を採用すべく又萬國赤十字社聯盟の條規に從ひ滿洲國紅十字會を組織すべく目下研究を急いで居る。

阿片麻藥制度の確立

民國禁煙の法令公布せられて年久しけれど其の效果皆無にして之が取締は國家の隆替に關する緊急案件たるを痛感し政府は建國以來之が研究を重ねた結果此の積年の宿弊を矯正せん爲めに斷禁主義に基く漸禁方針を採り、新に戒烟に關する規矩を定め、去る十一月三十日阿片法を制定公布した。

又阿片と密接不離の關係にある麻藥に關する法規も目下其の制定を急いで居る

保健衛生

保健衛生に關しては醫に政府は先づ全國に命じて主要都市の旅館其の他の娛樂機關即ち多人數集合場所たる公衆衛生の調査をなし、次て又一般國民をして將來衛生思想を徹底普及せしめんが爲め學校衛生の調査を行ひ、又各地方廣く蔓護せる結核、花柳病に關する調査を行つて之を對策を講じ市街に於ける汚物掃除、上下水道、屠畜設備、停柩場及公共墓地等に關しても極力調査を進めその對策を研究中である

防疫

防疫に關しては本年四月上海にコレラ起るや一方に於てはコレラ豫防暫行令を頒布して全國的に之か嚴守を命じ、他方又防疫事務の國際性に鑑みて五月三十日本司主催にて隣邦各衛生機關主腦者を新京に召集し第一回防疫聯絡會議を開催した、會議の結果今後傳染病豫防に關しては各機關協力して目的を遂する事に決し共同防疫暫時辦法を制定發布した、又政府は前述の如く國境及海港に於て嚴重なる檢疫を實施した、尚各地方の疫情を斟酌して流行各縣に防疫委員會の設置を命じ、全國的にコレラ豫防注射の施行を命じ注射液を發給する等大いに防疫に努め大事に至らずして九月中旬既に幸にコレラも終熄するに至つた、又本年は北滿に近來稀なる大水災起り環境はペスト發生に好適しであつたにも拘らず未然に能く其の發生を防く事を得て幸に一人の患者發生をも聞かなかつた事は之一に防疫事務された內外各位の賜物と言し私此の機會に厚く謝意を表する次第である

結論

最後には私は一日も早く滿洲國の衛生狀態を改善し民福を增進して一人たりとも多くの國民をして王道政治の效果を享受せしめんが爲めに固き堅き決心を有する事を誓つて諸兄の熱誠なる御後援と御指導を乞ふ次第である

落語 粗忽大名

三遊亭圓遊作 才賀しんじ畫

落語にはいつも粗忽者が一人や二人は必ず飛出して御愛嬌をふりまくものでござゐます。これはまた主人も粗忽なら、家來にも隨分粗忽しい方があると見えます。

「これ三太夫、餘の儀ではないが、あの赤松の上に生えた築山ちやが……あゝいや築山の上に生えた赤松ちやが、そこにあるのは大變面白うない、さんざ眺望が妙でない、そこであの松をこちらにある泉水のそばへ植變へやうと思ふがどうぢや、月雪の眺めまた一入であらうと思ふがの」

「恐れ乍ら申上げます、あの松は御先祖代々植置かれましたる松、若しお植變へのために枯れますやうでは、先祖代々を枯すやうなものと三太夫存じ奉ります」

「なるほど、そちの申す事も一理である。先祖の恭を汚しては相濟まず、左様か、左様ならば出入の植木屋を招いて枯れるか枯れぬか一應聞糺して見るがよからう、餅屋は餅屋と申す、急いで餅屋を呼べ」

「ハッ、ではあの餅屋を呼びまするか」

「イヤ、餅屋ぢやない、餅屋は餅屋と申す、植木屋を呼べ」

「畏まりました、……あゝお庭にゐる餅屋」

「オーイ、あのいつも譯の判らねえことを云ふ人がまた何だか云つてるやうだが、誰か代りに行つてくれ、ナニ親父がゐねえから俺に行けと云ふのか、情けねえな、何でげすかい」

「お殿様がその方へ少々お尋ねしたいと仰有る御前体へ罷りはじける」

「へえ、何かはじけましたか」

「何を申す、御前体へ出てお答へ申上げる時は慇懃に申上げねば相成らぬ、すべて物の頭に御の字をつけ、言葉の丁ひに奉るをつけるは、おのづから言葉が丁寧に相成るものぢや」

「ようがす、一つ御奉るでたてまらア」

「何を申す、無禮があつては相成らんぞ」

「ようがす」

「然らば身共について參れ」

軈て三太夫は植木屋を連れて御前に罷り出ました。

「恐れ乍ら申上げます、植木屋八五郎召連れてござりまする」

「何と申す、植木屋八五郎、左様か、これ八五郎苦しうない、面を上げろ、顔の所が大層赤う相成つて居るが如何いたした」

「冗談ぢやねえぜ、頭を下げろ、頭を下げろつて云ふもんだから、下にあつた石ですりむいた」

「何を申しておるか、これ八五郎、餘の儀ではないが、あの築山の赤松ぢやが、あそこにあつては眺望が甚だよろしうない、あれは泉水のそばに植變へやうと思ふが、先祖代々の松をその爲に枯すやうなことがあつては相成らぬ、枯れぬやうに植變が出來るかどうぢや」

「これ、即答をして」

「いやいや、三太夫苦しうない、即答を許す」

「有難い仰せにござります、これ八五郎即答を申上げろ」

「何だつて」

「即答をぶてと申すに」

「ぶつても構はねえか」

「構はんから早くぶて」

八五郎三太夫の横面を平手でポカーリ。

「こう致した、手荒い事を致すな」

「何だか俺もおかしいと思つたんで、ヘイ、此人が頭を出してそつぽを打てつて云ふもんだからやつつけたんで」

「なに、即答をぶてと申し[illegible]によつてそつぽを打つ[illegible]アッ、三太夫間違ひぢや[illegible]てやれ」

「あゝ痛い、何を致す、[illegible]へを申上げろと申した[illegible]や」

「へえ、よろしうございま[illegible]職人でございますから[illegible]様の前へ出ると萎んで了[illegible]口が利けません、頭を下[illegible]く下げてゐる。

「これ、何を致してゐる[illegible]や、早く申上げぬか」

「へえ、奉るでござりま[illegible]御築山様でござり奉りま[illegible]エー御赤松様でござり奉[illegible]こちらの御泉水湯へ御植[illegible]りまして、御枯れ奉るか[illegible]ねえかと云ふお尋ねでご[illegible]奉りまするが、私様は[illegible]餓鬼様の時分からこの稼[illegible]御飯を御食ひ奉ります[illegible]

「おゝ、こりやく三太[illegible]彼の申すことが余にはさ[illegible]解せんぞ」

「恐れながら申上げます、彼はがさつ者でござります[illegible]御前体へ出て御答へ申上[illegible]時丁寧に申上げる様申付[illegible]置きました、それを一々[illegible]頭に御の字をつけ、言葉[illegible]奉るをつけますので」

「それではさんと余に解[illegible]これ八五郎、朋輩同志話[illegible]うに申せ」

「へえ、今度は法印様の[illegible]にやるんで」

「さうぢやない、友達同[illegible]やうにやれと仰有るのぢ[illegible]」

「友達同志ならやつてもかまはねえか、ウン、そいつあ有難え、ぢやあ、一つざつくばらんでお頼み申します」

新刊紹介

高粱 新年號 救世軍日本總司令山室軍平氏、改造社長山本實彦氏、三井の大合所池田成彬氏らの年頭所感ガンジーの片腕と云はれてゐる印度志士ラスビハリボース氏の感想。その他創作としては懸賞當選作悲哀の滿足は郷土をもたぬ白系露人の血と涙で綴られた戀のロマンス。從來の戯曲の形式から一歩ふみ出したモダンインテリ張次喜太のモダーン滿洲ゴールドラッシュまず新春の初突ひにもつてこいモデルノロジオ、平康里のお孃さんの髪と靴とズロース調べ、新春し好讀物(價二十錢) 新京高粱社發行